

講座づくりの手順. 2

**学校の要望をもとに
講座の目標を設定**

学校の思い+講師の願い=講座の目標

目標とは、講座を通して

「こんな児童生徒、大人になってほしい！」

という“**学校の思い**”と“**講師の願い**”です。

必ず、目標をもって講座に臨みましょう！



目標は、誰が見てもわかりやすく設定

《目標の作り方の例》

(講座での活動) を通して、
(理想の子ども像) ができるようになる。

《目標例》

インターネットやスマートフォンによる消費者トラブル事例から、被害に遭った原因や対処法を考える活動を通して、自分の生活に合った「トラブル撃退家族ルール」を作り、それを守れるようになる。

必ずしも文章化する必要はありませんが、文章化することで、打ち合わせ時や講座中に講座の軸がブレることが少なくなります。

講座づくりの手順. 3

目標に沿った内容を
リストアップ。

講座づくりの手順. 4

**リストアップしたものを
目標や時間等を意識して整理整頓**

**出てきます
ポイント
《その2》**

導入→展開→終末の流れで整理整頓

起	導入	受講者の講座への関心を高める時間 <ul style="list-style-type: none">・自己紹介・講座の目的や流れ・ゲームやクイズ 等
承	展開	伝えたいことを理解してもらう時間 <ul style="list-style-type: none">・講師の講話・DVD等の視聴・児童生徒同士の話し合う・児童生徒が発言をする・ワークシートに記入する・その他活動を行う
転		
結	終末 まとめ	講座をふり返り、まとめる時間 <ul style="list-style-type: none">・展開場面を簡単にふりかえる・児童生徒の感想をもとめる（発言or記述）・講師の願いを伝える

導入の時間では、 短時間で児童生徒の心を掴もう！

え？そんな危険なことがあるの？
ゼッタイに聞かなく
きゃ！！

今日の講座は楽しそう
だな…
聞いてみたくなった♪



**今回配布している
資料の中にもある、
講座の一場面を使ってみましょう！**

こんなトラブルがありました②

母親が使うスマートフォンで、子どもがオンラインゲームを勝手にしていました。

子どもは、オンラインゲームは無料だと思い、アイテムを買い続けていました。

どうなったと思いますか？



「消費者庁イラスト集」より

こんなトラブルがありました②

母親あてに、

30万円以上



せいきゅうされました。

「消費者庁イラスト集」より

**展開の中で使ってもよいのですが、
導入でも使うことができます。**

例えば、私なら・・・
先ほどのページを結論から提示します。

ピッ!

30万円

これは、君たちと同じ小学生があること
に使った金額です...何でしょう?

何だかわかるかい?

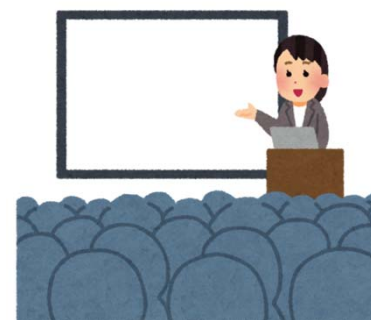


児童生徒の考えを聞きながら、 じらしながら…

ピッ!

実は…

なるほど…
この30万円は…



スマホゲームで高額な支払いが発生していることへの関心をもたせる。

ドン!

スマホ
ゲーム
です。

スマホゲームをしたことがある人、手を挙げてみて。



さらに驚きを与える工夫を。

ドドン!

しかも、**たったの数日**で

30万円を

使ってしまいました...

たったの数日だよ。



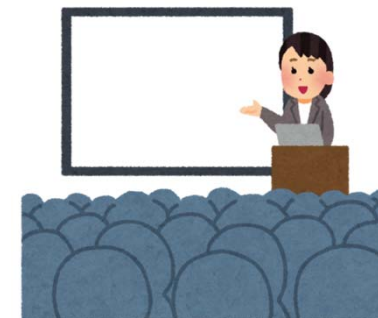
そして、講座の本質に迫る。

ピッ!

**“知らない”って
怖いこと**

**“知らない”ことで、
お金や時間
大切な友達も無くしてしまうかも...**

みんな子どもだけど、
知らないといけない
ことなんだよ。



講座の目的を伝える

ピッ!

今日の講座の目的と流れ

《目的》

〇〇〇...を知ろう!

《流れ》

1. □□□...

2. △△△...

3. ×××...

今日の講座を通して、
いろんなことを知っ
てください!



導入の工夫として

クイズ・ゲームが有効な手段です！

時事ネタも心を惹く情報です！

ただし、年代や講座の話題に合ったものを選びましょう。

結論（トラブル被害）から提示するのも効果的！
特に、数字が大きければ大きいほど関心は高まります。



ポイント 《その2》

児童生徒の心を掴む
“導入”の一工夫！